

ちゅうぶ おうだん じ どうしゃ どう  
**中部横断自動車道**  
ながさか やちほ  
**(長坂～八千穂)**

## 第1回 コミュニケーション活動 結果(概要)

第1回アンケート・意見聴取のご協力ありがとうございました。

平成23年2月に実施した「中部横断自動車道(長坂～八千穂)」アンケート・意見聴取では、周辺地域にお住まいの方、道路利用者、経済界等・地元自治体の方々にご協力いただいた結果、7,299通ものご意見をいただきました。

今回の結果は、第2回コミュニケーション活動へ反映していきます。

なお、回答いただいたご意見はできるだけ記載内容にそってとりまとめ、掲載させていただきます。

### 中部横断自動車道

■中部横断自動車道は、総延長約132kmの高速道路です。

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から長野県小諸市に至る高速道路です。

現在、山梨県の増穂IC～双葉JCT間および長野県の佐久南IC～佐久小諸JCT間が開通しており、(仮称)吉原JCT～増穂ICおよび(仮称)八千穂IC～佐久南IC間は、国土交通省およびNEXCO中日本が整備を進めています。



■本アンケートの対象となるのは、長坂～八千穂間です。

このアンケートは、「(仮称)長坂JCT(山梨県北杜市)～(仮称)八千穂IC(長野県南佐久郡佐久穂町)」間の整備方針について、ご意見を伺うものです。

# 1. 第1回コミュニケーション活動結果の概要

## (1)第1回コミュニケーション活動の概要 — (実施概要)

- 第1回コミュニケーション活動の実施期間：平成23年2月17日～平成23年3月25日（37日間）
- コミュニケーション活動の対象者
  - <アンケート（返信はがき・WEB）>
    - ・沿線住民、道路利用者
  - <意見聴取>
    - ・地元自治体、経済界等
- アンケート・意見聴取内容
  1. 周辺地域の課題について
    - 質問1-1 提示した下記の①～⑤は、周辺地域が抱える課題とご感想はありましたか？
      - ①産業：地域の生産品の自動車輸送に時間がかかる
      - ②医療：救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる
      - ③観光：主要観光地間の連携が不足している
      - ④生活：買い物、通勤などの日常生活の移動が不便
      - ⑤道路：国道141号の走行性・安全性が不足している
    - 質問1-2 他に重要と思われる周辺地域の課題
  2. 課題を解決するための目標について
    - 質問2-1 提示した下記の①～⑤は、周辺地域の課題を解決するための目標だと思われましたか？
      - ①高速IC：高速道路インターチェンジの時間短縮
      - ②医療：救急医療施設への搬送時間の短縮
      - ③観光：主要観光地間の移動時間の短縮
      - ④生活：地域の生活交通の移動時間の短縮
      - ⑤代替路：災害による道路通行止め時の代替路確保
    - 質問2-2 他に考えられる目標
  3. 対策の比較案について
    - 質問3 提示した対策案の他に考えられる対策案
  4. その他
    - 質問4 その他中部横断自動車道について期待すること懸念すること



図 対策の比較案

## (2)アンケート結果 — (回答者の属性)

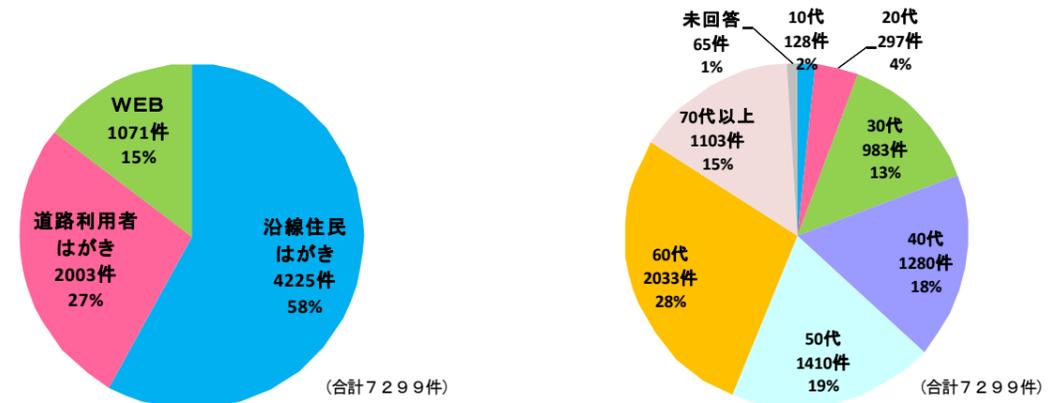


図1 手法別

図2 年齢別

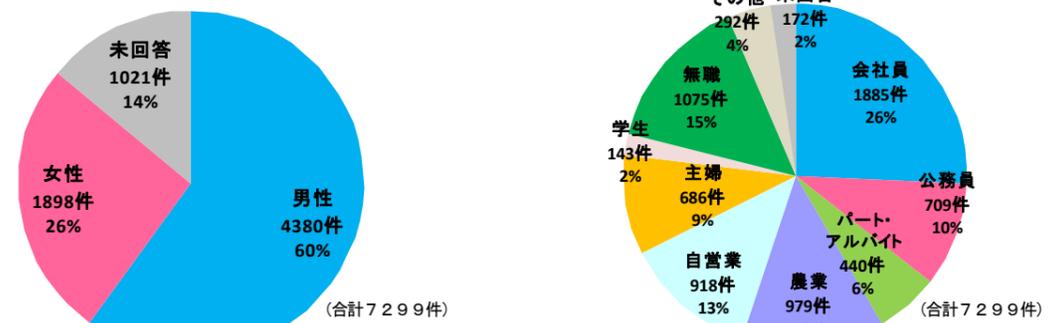


図3 性別

図4 職業別

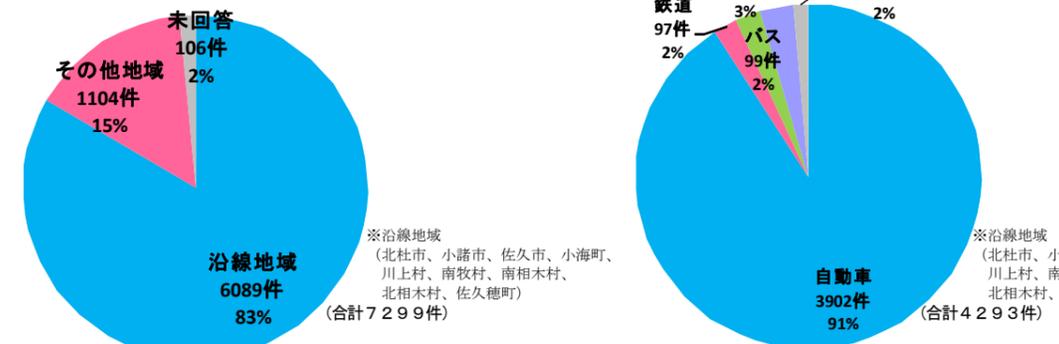


図5 地域別

図6 沿線地域にお住まいの方の主な移動手段別

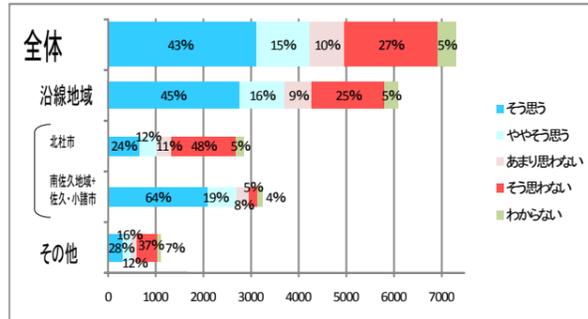


図7 沿線地域外から来られる方の主な目的別

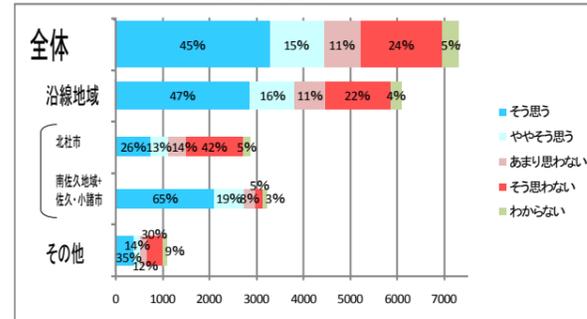
質問1-1 「提示した課題は周辺地域が抱える課題と思えましたか」 質問1-2 「他に重要と思われる周辺地域の課題」 に対する回答  
に対する回答 (自由回答)

- 国提案の①～⑤の各課題に対し、全体の 51～64%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
- そのうち、沿線地域(6,089 件)では、53～67%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答(北杜市(2,853 件)では、29～44%、また南佐久地域+佐久・小諸市(3,236 件)でみると72～87%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答)
- 一方、その他地域(1,104 件)では、40～49%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答

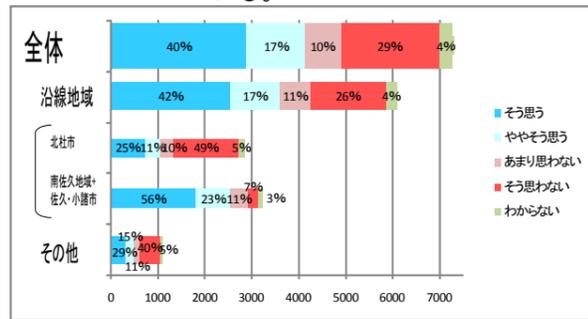
①【産業】 設問：地域の生産品の自動車輸送に時間がかかる。



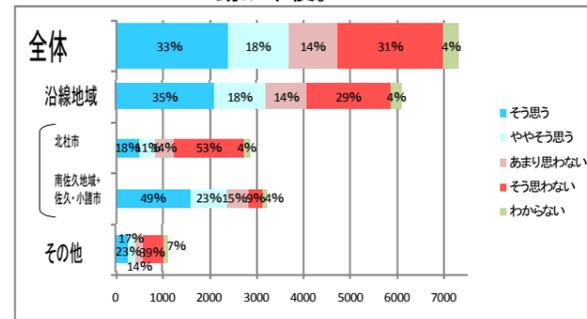
②【医療】 設問：救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる。



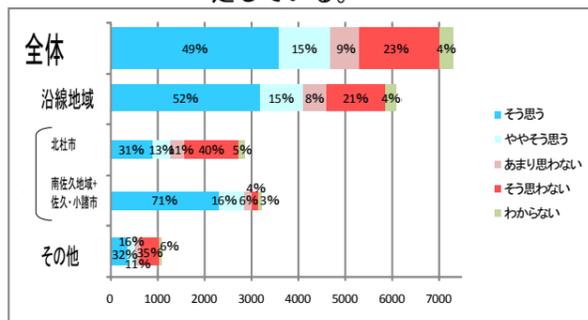
③【観光】 設問：主要な観光地間の連携が不足している。



④【生活】 設問：買い物、通勤などの日常生活の移動が不便。



⑤【道路】 設問：国道 141 号の走行性・安全性が不足している。



<その他重要と思われる課題>

- ・高齢化、過疎化による既存産業の衰退。
- ・隣接行政区との文化・教育等の交流の活性化。
- ・公共交通機関の整備。

<道路整備への期待>

- ・なるべく早く開通して、観光面に役立てたらと思います。
- ・地域の発展は、高速道と道路網の整備による社会資本の整備充実です。
- ・他地域間との交流が促進され、文化向上のためになる。
- ・地域間の結びつき。観光面で多大な効果が期待出来る。
- ・工場誘致、雇用の創造等、経済的に効果大。
- ・通勤時間の短縮。
- ・沿道の人々が騒音問題に悩まなくてよくなる。

<道路整備への懸念>

- ・国道 141 号を整備すれば良い。
- ・道路整備が優先されて、自然が失われる。
- ・貴重な八ヶ岳の景観を保護する。
- ・観光面で通過地点にならないか。
- ・交通量が増えるため、公害等の問題が必ず起きるのではないかと心配です。
- ・道路を造る事による地域の分裂。
- ・高速道路など必要ない、要らない。

<道路整備内容>

- ・現状の一般道の再整備の推進が重要。
- ・自然が豊かな地域なので、自然を守りながら、道路の建設をしてほしい。
- ・極力、景観を損なわずに、極力各地域民家から遠い施設設定を期待します。
- ・特色あるサービスエリアを設けて、地域の活性化を促す。
- ・地域に密着した高速道でありたい。その為には地域毎には言わないが、細かく IC を設ける事と地域の近くを通す様に工夫してもらいたい。
- ・IC アクセス道の整備。IC 周辺環境アセスをすべき(追加 IC)。
- ・生活道路が国道 141 号のみとなっているので、バイパス道路が早急に必要と感じる。
- ・街灯が少なすぎると思う。

<道路以外の施設等の整備>

- ・医療(病院)を充実する。救急搬送等にヘリポートなどの整備は必要と考える。
- ・老人ホームと保育園の充実。

<道路整備の進め方>

- ・大きな震災が起きた今、横断道よりも被災地の復興のために予算、重機を使う事が重要だと思います。
- ・もっと住民にわかりやすく説明する必要あり。特に高齢者の方には丁寧な説明が必要。
- ・日常生活での利用は、費用との問題があると思う。

<「産業」「医療」「観光」「生活」「道路」に関する意見>

- ・国道 141 号が通行止めの場合、迂回路がない。
- ・道幅が狭く、長距離輸送トラックが道幅いっぱいに行き通るため、地元の生活道路としては危険である。
- ・安全な運行のため道路の降雪・積雪対策、凍結対策が必要。
- ・近県へのアクセスは、非常に不便。
- ・農業振興、後継者育成、特産品開発などに力を注ぐべき。
- ・十分に地域の豊かさが感じられる。
- ・休日等における一般道の渋滞の緩和。
- ・食品スーパーが少ないので、買い物に困る地域。
- ・大切な産業である観光地としての価値を、高めて行かなければ発展しない。
- ・雇用の促進。陸の孤島から魅力ある地域に。
- ・救急搬送に時間が掛かる。
- ・滞在型観光地にむけてのインフラの整備。

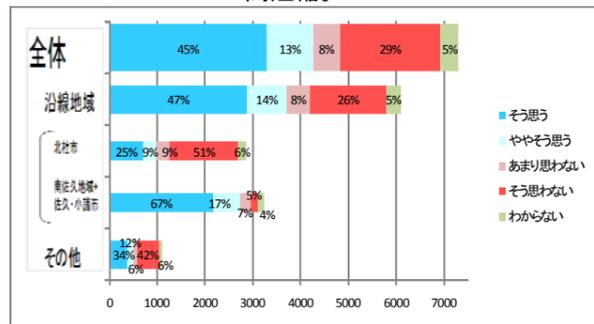
<その他>

- ・不法投棄や車両の放置等の景観的な問題。

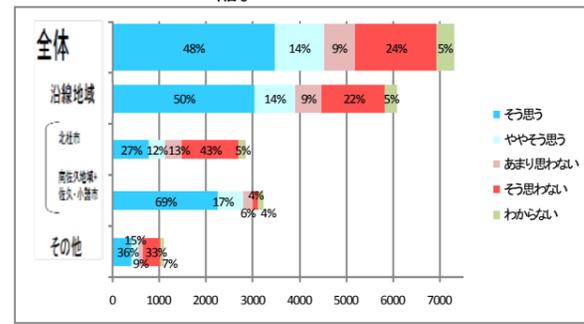
質問2-1 「提示した目標は、周辺地域が抱える課題を解決するための目標だと思いますか」に対する回答

- 国提案の①～⑤の各目標に対し、全体の 54～63%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
- そのうち、沿線地域(6,089 件)では、56～66%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答(北杜市(2,853 件)では、32～41%、また南佐久地域+佐久・小諸市(3,236 件)でみると 78～88%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答)
- 一方、その他地域(1,104 件)では、42～51%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答

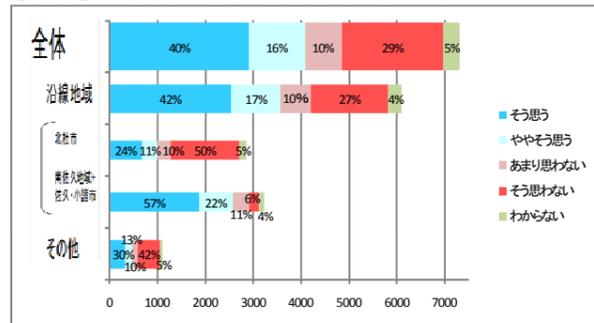
①【高速IC】 設問：高速道路インターチェンジの時間短縮。



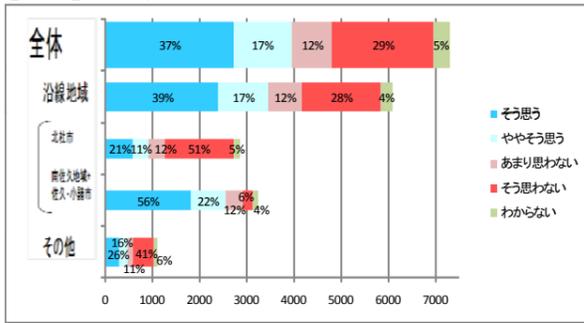
②【医療】 設問：救急医療施設への搬送時間の短縮。



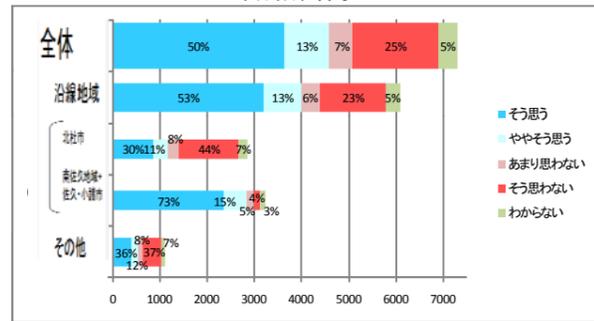
③【観光】 設問：主要観光地間の移動時間短縮。



④【生活】 設問：地域の生活交通の移動時間短縮。



⑤【代替路】 設問：災害による道路通行止め時の代替路確保。



質問2-2 「他に考えられる目標」に対する回答(自由回答)

<その他考えられる目標>

- ・より安全な一般道とする。
- ・若者の働ける会社の誘致。
- ・公共交通機関の充実。

<道路整備への期待>

- ・一日も早期に完成する事、希望します。
- ・早期に道路整備を行う事で、地域活性化を図る。
- ・地域経済の拡大や立地条件格差の縮小化(生活環境・温暖化の減少等)に貢献する。
- ・首都圏で大災害が発生した場合、高速道路の迂回路となり、物流支援となる。
- ・過去に国道141号が災害時に通行止めとなり、救急車両の運行に大変であった。早期代替必要。
- ・国道141号の交通集中緩和により、周辺住民の騒音被害が減少する。

<道路整備への懸念>

- ・道路は現在のままで十分である。
- ・この地域の一番の財産は景観であるので、道路を造ることで課題を解決してはいけないと思います。
- ・自動車道による、生活道路への影響(騒音・事故)が心配です。
- ・最大限景観を保持して、将来の観光資源とする。
- ・観光では、今より更に北杜市観光は通過点になると思われる。
- ・中部横断自動車道は必要ないと思います。

<道路整備内容>

- ・国道141号の整備。(拡幅、歩道等)
- ・周辺の自然環境破壊しないように配慮する。
- ・地域の風景との共存を重点的に考えてほしい。
- ・何処かにサービスエリアを設けて、景観をゆっくり楽しめるように。
- ・各インターチェンジを町村毎に設けて欲しい。
- ・ICに行くまでの道路の整備を考えて下さい。
- ・現在、国道141号線以外の迂回路が無いので、バイパス等を整備してほしい。
- ・早期4車線化。(救急車両がスムーズに移動できない)
- ・2車線で十分と思います。

<道路以外の施設等の整備>

- ・ドクターヘリや医療施設の増設。

<道路整備の進め方>

- ・無料道路の整備。
- ・東北関東大地震の復興が先です。
- ・きちんとした公聴会など開くべき。

<「高速IC」「医療」「観光」「生活」「代替路」に関する意見>

- ・他の道路への影響を考慮して、周辺地域が活性化するように努力する。
- ・災害時にそなえた道路整備。
- ・地域の特産品の販売ルートが拡大できる。
- ・そういった事が課題だと思わないので、目標だと思わない。
- ・地域間交流の高速道路間の接続。アクセス方法が多くなり利便性が向上となる。
- ・通勤時間の短縮。
- ・道路交通網の広がりにより、利便性向上による発展、過疎化回避。
- ・救急患者の搬送短縮が優先されることを第一に考えて早急に着工すべきと考えます。

<その他>

- ・農家への生活保障。社会保障の充実。

### 質問3 提示した対策案の他に考えられる対策案について

#### <その他考えられる対策案>

- ・在来道路の拡幅整備や改良、住民密着型の道路整備を願いたい。
- ・国道 141 号のバイパス整備により、走行性・安全性を向上し時間短縮を図る。

#### <道路整備への期待>

- ・これからの事業はスピード感が重要であり必要ある。早急の対応よろしくお願ひします。
- ・他地区との連絡交流促進。
- ・新たな雇用対策。周辺地区の活性化も期待できる。

#### <道路整備への懸念>

- ・地域には貴重な自然もあり、その破壊も心配です。
- ・八ヶ岳の景観、自然を大切に守っていく。
- ・中部横断自動車道は不要。建設反対。

#### <道路整備内容>

- ・自然にやさしい方法を考えて頂きたいと思います。
- ・どうしても建設するならば、景観を考慮し極力南側を通すべき。
- ・休憩時間がしっかり取れる場所づくりにも力を入れる必要がある。
- ・中央道との JCT を須玉 IC 付近に東へずらし、東京・静岡方面へのアクセスを向上させる。
- ・高速道から一般道へのアクセスを、IC を増やしてスムーズにしてほしい。
- ・ルート変更。
- ・トンネルを大いに使ってもらいたい。
- ・全区間、冬期対策として新たに道路整備してほしい。
- ・全区間を 4 車線にする。4 車線にしないと渋滞、事故の発生、救急搬送時に支障が出る。
- ・片側 1 車線でも良いと思う。今ある道路も整備し、新しい道路は最小限で良い。
- ・北杜市から甲府市へ行く高速を、無料にして下さい。生活圏が広がるので便利になります。

#### <道路以外の施設等の整備>

- ・ドクターヘリ、病院の充実が先決。
- ・公共の交通機関の充実。
- ・農業・農村の振興や活性化対策が急務。

#### <道路整備の進め方>

- ・住民の声をよく聞くべきです。
- ・この道路に費やすお金を、東北の復興資金に充てて下さい。

#### <案 1、案 2 について>

- ・出来るものなら高規格で整備してもらいたい。(1 案)
- ・2 案の様に、現存する資源を有効活用する方法が良い。
- ・(2) 案で建設コストを可能な限り削減する必要があります。
- ・旧清里有料道路を利用するのは安全性に問題があり不安。
- ・旧清里有料道路の活用で無料区間が有料になるのは問題解決の一つ。活用は賛成、有料化は反対。
- ・141 号線の問題箇所だけ手当する案は当然検討されていると思うので、1 案・2 案と比較できる様にして欲しい。

#### <その他>

- ・電気自動車等のエコ車の普及。

### 質問4 その他中部横断自動車道について期待すること懸念すること

#### <道路整備への期待>

- ・早期完成を期待しています。
- ・隣接する静岡県とのアクセスが向上するので、観光や農業の連携が可能になってくるのではないかと。
- ・交通事故の減少。
- ・何より地域内の交流・活動が促進され、時間格差・経済格差が解消される期待があります。
- ・災害による代替路確保等に、本当に期待しております。
- ・輸送の効率化と沿線地域の活性化。
- ・観光地が近くなるので良い。
- ・広域範囲が近くなる。生活のスピード化。
- ・多様な整備効果に大いに期待する。
- ・救急車の搬送時間の短縮。
- ・東京で地震、災害等が発生時の環状線として、東京を迂回道路になる。
- ・交通渋滞の緩和に期待したい。
- ・CO2 削減につながる。

#### <道路整備への懸念>

- ・費用対効果をきちんと考えて建設して欲しい。
- ・森林伐採による環境の変化が心配。
- ・自然の景観が大幅に失われる。
- ・騒音について懸念しています。
- ・高速道路のため、冬の事故が心配。
- ・観光客などに素通りされ、衰退する地域が多数出る。
- ・従来国道沿いの商業の衰退。
- ・道路整備により地元商業の過疎化、一部地域への集中が心配。
- ・当該地の人口減からも、高速道の維持費負担が心配。
- ・地域公共交通に対する影響に懸念。
- ・交通の便が良くなる事により、犯罪が増える。
- ・既存道路の整備・管理が疎かになることが危惧される。
- ・高速道路は不要です。

#### <道路整備内容>

- ・従来ある道路の整備・充実を望む。
- ・自然景観には十分配慮した設計を望む。
- ・美しい景観を破壊しないよう配慮してほしい。
- ・休んだり景色を楽しめる場所をつくってほしい。
- ・生活道路の発想もあるので、出来るだけ IC を増やして欲しい。
- ・高速で走行出来る道路の建設を望みます。
- ・IC チェンジ付近の観光、商業対策。
- ・必要な所だけを高速とし、改良工事で流れが確保できる所は改修で。
- ・トンネルを確保してほしい。
- ・4 車線化をすべきである。
- ・ルートの変更。
- ・通行料金無料。
- ・旧清里有料道路は傾斜が急で、高速道路としての安全性に疑問がある。

#### <道路整備の進め方>

- ・国の財政を圧迫することへの懸念。
- ・説明をきちんとして欲しい。

#### <その他>

- ・居眠り防止策の道路形態も考慮されたい。

(3)意見聴取結果 ー (地元自治体 1/2)

	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	対策案	期待・懸念等
北杜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業物流面：現在は、東京、名古屋、長野方面への、広域的物流の効率化と産業基盤の確立に必要な、東西への高速ネットワークである中央自動車道があるわけですが、農業生産物は現在の保存技術が格段に改良しない限り、消費地までの速達性が求められ、また工業製品の輸出に対しては、空港や港までの時間、コストなどの縮減が必要であるため、速達性に課題があると考えます。</li> <li>観光面：北杜市は東京都心から約 2 時間で連絡している。観光施設と自然を生かし、観光資源を融合させ、遊ぶ、見る、癒しを兼ね備えた、長期滞在型保養地であり、全国でも有数の美しい自然景観を有する観光リゾート地域でもある。都市圏から日帰り、宿泊どちらでも可能である強みがあります。課題としては、現在の訪れている観光客のニーズは保ちながら、時代のニーズに合った観光客の誘致を考えていかなければならない。このため新たな県内外、外国人観光客を誘致できるような観光コース等を考えていくことと、課題は移動時間がかかることなので、主要な観光地間の連携に課題があると考えます。</li> <li>雇用機会面：企業誘致を行い、産業人口の増加や、地元市民の雇用機会を増やし、人口の流失に歯止めを掛けていかなければならない。現在は市外への通勤をしている市民も多く、勤務地まで時間がかかり、転出又は市内の中で転居が増加し、結果過疎化が進んでいる地域があり、日常生活の移動性に課題があると考えます。</li> <li>救急医療面：医療に際しては、市内 2 つの病院を有しているが、高度医療を受けられる病院は、甲府市にあり距離、時間を考えると速達性に課題がある。また市内医療も地域によっては速達性に課題があると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業物流面：高速道路へのアクセスをよくする事は、生産現場から高速道路までの時間を短縮し、トラック等の輸送に関する、燃料効率をよくしコスト削減することができることから、移動時間を短縮することが必要である。</li> <li>観光面：市内はもとより、県境付近の観光地と連携をはかり広域的な観光周遊ルートを確立することにより、新たな観光コースを確立し、新規観光客の開拓、また新潟空港、静岡空港等の利便性を活かすためにも、主要観光地の連携と移動時間の短縮をすることが必要である。</li> <li>日常生活面：移動時間が短縮できれば、日常生活、通勤などの不便が解消され、雇用機会の選択も増加するため、日常生活の移動性を短縮する必要がある。</li> <li>救急医療面：特にこのルートは、山間地でもあり、防災ヘリは天候により運行できない可能性がります。このような場合、防災ヘリ運行可能な場所まで救急車で患者を運び、救急医療施設までの患者搬送時間を短縮する必要があります。</li> <li>災害時の代替路の確保：市は東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されている、また中央道の長野県東横付近の市町村は強化地域に指定されているが、この長坂～八千穂ルートの長野県側は強化地域に指定されていない、この為大規模地震が発生した場合、唯一緊急物資の輸送路となる。このため災害時の交通機能の確保により迅速な復旧と支援物資を届けることが可能である。このことから市民の安全と安心を確保するため代替路を確保する必要がある。</li> </ul>	<p>環境や景観への負荷等を低減するために、旧清里有料道路を利用していくことが望ましいと考える。</p>	<p>貴重な動植物の生息地であり、景観に優れたエリアでもあるため、十分な環境アセスメントを実施していただくと共に、景観にも配慮していただき事業を進めていただきたい。結果自然環境に配慮し、景観と融合するような、高速道路建設の新しいモデルとなるようお願いしたい。</p>
小諸市	<p>本アンケートの対象区間である八千穂 IC～長坂 JCT は、急カーブや急坂が連続しているため、下記の課題が考えられると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の生産品の自動車輸送に時間がかかる。</li> <li>② 救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる。</li> <li>③ 国道 141 号の走行性・安全性が不足している。</li> </ol>	<p>周辺地域の課題を解決するために、下記の目標が必要であると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高速道路インターチェンジの時間短縮</li> <li>② 救急医療施設への搬送時間の短縮</li> <li>③ 災害による道路通行止め時の代替路確保</li> </ol>	<p>提示された比較案が適当だと思えます。</p>	
佐久市	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業：佐久地域の特産品（野菜、果樹、花卉等）を、荷痛みの少ない新鮮な状態で出荷するには、急勾配や急カーブが多く輸送にかなりの時間を費やしている。</li> <li>医療：第 3 次救急医療施設である佐久総合病院までの搬送時間が、全国平均を大幅に上回っていて（最大で 70 分）、地域住民は不安を抱えている。</li> <li>観光：沿線周辺には観光名所が多数あるが、小淵沢から軽井沢までの移動に時間がかかるなど連携が図られていない。</li> <li>生活：大型店の多い佐久市内までの移動に時間がかかっている。</li> <li>道路：南佐久地域で唯一の幹線道路である国道 141 号には、急傾斜地崩壊危険箇所が点在していて、災害時の代替路線がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速 IC：移動時間を短縮することで、新たな人、モノの流れを加速させ、観光、産業、医療など全ての面において可能性を一層高める。</li> <li>医療：第 3 次救急医療施設からの 30 分カバー圏を拡大することで、救急医療体制を大きく改善する。</li> <li>観光：沿線観光地を短時間で結ぶ広域観光ルートを形成することで、観光立国に貢献し更なる交流人口を創出する。</li> <li>生活：日常生活の利便性を向上させることで地域経済の活性化を図る。</li> <li>代替路：地震や集中豪雨などによる災害発生時の、代替道路や緊急輸送道路を確保し災害に強いネットワークを構築する。</li> </ul>	<p>全区間 4 車線での整備が望ましいが、現道を活用することで一日も早く開通させることも重要な要素である。</p>	<p>佐久地域の更なる飛躍のため、佐久南 IC から（仮称）八千穂 IC 間の整備促進と、（仮称）八千穂 IC から（仮称）長坂 JCT 間の、一日も早い整備計画区間への格上げを強く要望する。</p> <p>3 月 11 日、東日本大震災の発生は、日本人の意識を変える大きなショックとなった。様々な方面に影響を与える事となると思われるが、電力需要を抑制していこうとする方向に日本は向かうべきであり、そういった気運の高まりも考えられる。</p> <p>地球温暖化の影響も考える中で、標高の高い佐久地域（佐久市・小諸市：約 700m。軽井沢：950m。南牧村野辺山：1350m）での滞在を推進すべきである。</p> <p>退職後の居住や夏場の最も電力需要が高まる時期に長期滞在するなどの提案や施策展開を地域全体で取り組んでいく上で、交通アクセスが充実していく事は、地域の活性化であり国益と言える。</p> <p>また、東京への一極集中への懸念が声高に指摘されるようになってきているが、天災のない佐久地域において政府機能の一部移転を考える時、東海地域他とのアクセスが極めて重要になる。</p> <p>中部横断自動車道の整備が、政府のセーフティーネットの可能性も広げることになる。</p>
小海町	<ul style="list-style-type: none"> <li>南佐久郡と山梨県を結ぶ幹線道路は、国道 141 号のみであり、災害等に見舞われた場合には、代替道路はなく、迅速かつ確実な安全確保が不可能である。また、救急救命に、医療施設までの時間がかかってしまう。速達性が求められている。</li> <li>佐久地域は、高原野菜の一大産地であり、新鮮な野菜を消費地まで早く確実に届けるためには、急峻な国道のみでは課題が多い。</li> <li>南佐久地域は自然豊かな観光資源が豊富な地域であり、軽井沢と清里の中間に位置しているが、地域間の連携が不足している。観光客の移動を短縮することにより交流人口の増加につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の代替・緊急道路を確保し、生活圏の拡大と交通の円滑化を図る。</li> <li>佐久総合病院医療機関センター等救急医療施設への患者搬送時間の短縮を図る。</li> <li>新鮮な農産物(高原野菜等)をより早く安全に消費地に輸送することが実現できる。</li> <li>観光資源を活かした観光の活性化には、観光人口の増加と広域的な地域間交流が図られる。</li> </ul>	<p>全区間で、新たに道路を整備する案が理想であるが、旧清里有料道路区間を利用することは、道路勾配と野生の動物横断に課題があるが、環境、建設費、工期の短縮の面からみて妥当と考える。しかし、将来の交通量、安全性を考慮し、十分な議論が必要と考える。</p>	<p>南佐久地域は急峻な地形であり、地域住民の安全と安心を守り、地域の発展には中部横断自動車道は絶対不可欠な道路であります。早期実現を強く望みます。</p>

※全文掲載

(3)意見聴取結果 ー (地元自治体 2/2)

	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	対策案	期待・懸念等
川上村	この地域の最大の課題は、以下のような観点から国道 141 号の走行性・安全性が不足している点だと思う。この地域周辺は急峻な地形と狭隘な道路が非常に多く存在している。特に、国道 141 号南牧村の市場坂は、急勾配かつ急カーブの連続であり、また、日影地が多いため年間を通して事故の多い場所である。同じく南牧村の海尻の JR との立体交差点は国道 141 号の中で最も幅員が狭く大型車のみならず普通車同士のすれ違いにも細心の注意が必要な箇所である。以上の状況から川上村周辺から最寄りの病院や IC までは(中央道、上信越道)ともに 1 時間以上の時間を要し、緊急医療施設への搬送時間がかかり、高原野菜の輸送についても時間がかかる結果となっていると思われる。	現状の国道 141 号の改良には、民家の移転、山の犬掛かりな切り崩し等が予想される。また、この地域は国道 141 号が唯一の基幹道路なので、平成 12 年に発生した杣添洞門の路肩決壊による通行止めを想定した場合、すべての人的移動・物流に支障をきたしてしまう。上記の課題を解決するには国道 141 号の代替路線の設置が急務だと思われる。	基本的には現道(旧清里有料道路)を利用する方向が良いと考える。道路は繋がってこそ本来の価値を発揮するものである。現道を利用することによる事業費の削減により一日も早い完成を望む。事業費の削減のためには野辺山地区の農道の一部を利用しても良いのではないかと考える。ただし、安全性を考慮し上り坂(川上方面に向う側)を高速自動車道として利用すること。ただし現道をそのまま利用すると、車両の速度が著しく低下するため高速道路規格に反するような構造であってはならないし、現道は直角なカーブが点在するのでこの点は改良の余地があると思われる。	
南牧村	① 産業：主生産物野菜乳製品の輸送に時間がかかり、鮮度、販路が制限されてしまう。 ② 生活：通勤、通学、買い物不便 ③ 医療：救急医療施設への搬送時間 1 時間、全国平均の 2 倍の時間を要す。 ④ 観光：主要道 141 号一本しかなく、交通の混雑解消と観光地間の連携を深める。 ⑤ 道路：規格古く、カーブ多く勾配急、交通事故多い。 ⑥ 災害：台風、地震、事故等で通行止めになると迂回路がなく陸の孤島となる。	① 高速 IC：製品の輸送時間短縮で販路、商圏が拡大 ② 生活：通学、通勤圏拡大、人口流出抑制 ③ 医療：スピードかつ安全性が向上し救急救命率向上 ④ 観光：観光ネットワーク構築で地域の活性化に期待	自然環境への影響、経済性、工期の短縮等を考え、第 2 案が最良と考える。	・高速交通網の整備によって沿線の人々の生活が変わり、安心して暮らせるようになる。 ・優良農地や人家の影響を最小限に抑え、最小の犠牲で最大の効果が得られるようお願いしたい。
南相木村	幹線道路は国道 141 号だけで 141 号が災害等で通行止めになると迂回路がない。中部横断道の果たす役割は大きいものがある。ネットワークが確保されることで、大きい効果が得られる。	地方の発展は道路整備にあると考える。特に高速道路を利用した移動は、スムーズで都会との時間的距離が短縮されて若者定住人口が増え、観光面で大きな効果が期待される。必要な道路は整備すべきである。	財政事情は厳しいかと思いますが、高規格で整備してもらいたい。既存道路活用は賛成できないが、どうしてもなら仕方ない。一日も早い着工をお願いしたい。	
北相木村	住民アンケートにも示されている産業～生活においては、それぞれが地域のかかえる重要課題だと思っている。「道」により地域が大きく発展するものと思うので是非共早期整備計画への移行を願うものである。	各分野における時間短縮、生活圏の拡充、万が一における代替路の確保等の目標をかかげる。	早期整備を図るという観点から暫定二車線旧清里有料道路利用案を支持するものである。	
佐久穂町	① 町内の農産物出荷施設から一番身近な中央自動車道 IC まで 1 時間以上かかり、新鮮な高原野菜等の名古屋・大阪市場までの流通基盤が不安定、また、遠方の市場(中国・四国・九州)については、輸送の時間的な制約から出荷エリアが限られる。 ② 第三次医療施設の佐久総合病院までの救急車の搬送時間は、当町からは概ね 30 分圏内だが、小海町以南は 1 時間以上かかってしまい住民は、不安を抱えている。 ③ 南佐久地域内の移動時間が長いこと、広域的な観光連携、地域内の交流促進、連携強化、地域の一体性を図ることが難しい。 ④ 町内の企業・商店やレクリエーション施設等は規模が小さく、佐久市へ通務する人が多いが、日常の移動に長時間かかってしまう。 ⑤ 南佐久地域の幹線道路は、国道 141 号のみであり、災害や事故等により通行止めが発生した場合、生活道路が迂回路となるため、大型車は通行止めとなり、迂回ができなくなってしまう場所もある。	① 高速道路までの移動時間の短縮 ② 救急医療施設への移動時間短縮 ③ 主要な観光地間の移動時間短縮により南佐久地域の連携強化を図る ④ 交通が円滑化することで、生活圏が拡大し、地域が活性化 ⑤ 災害時の幹線道路確保 ⑥ 高速交通ネットワークの形成(ミッシングリンクの解消)	① 全区間高規格幹線道路として整備。 ② 暫定供用として旧清里有料道路(山梨県道 28 号線北村八ヶ岳公園線)を一部区間利用。	基本計画区間である(仮称)長坂 JCT～(仮称)八千穂 IC 区間が整備計画区間に格上げされ、早期全線整備を要望します。

※全文掲載

### (3)意見聴取結果 — (経済界等)

	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	対策案	期待・懸念等
物流業	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された課題のとおりである</li> <li>降雪時の除雪及び凍結時のスリップ等に関しては、限られた地域だけの課題では無いと思う。</li> <li>国道 141 号線は、道幅が狭いところがあり、特に小海町付近は走行性・安全性に不安がある。</li> <li>国道 141 号には急カーブ等々の区間が多く安全走行の確保に運転者が注意することの負担が重い。</li> <li>夏場の高原野菜の出荷に於いて、実需者より求められているのは、畑から収穫した後、いかに早く実需者の工場、店舗へ納品するかだが、この地域には国道 141 号線しかなく、定時性、時間短縮ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我々業界にとっては、輸送時間の短縮となることが最大であり、周辺地域の方の考えに同意見</li> <li>5 つの課題解決目標とあわせて他の高速道の通行止め等の代替道路として必要がある。</li> <li>周辺地域の課題にとどまらず、雪害、事故の際に代替道路がなく、運行上支障がある。</li> <li>他の高速道路と連絡して 2 ネットワーク化、地域間の結び付きの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された対策案は有効</li> <li>高速道路に通じる幹線道路の整備も必要と思う（アクセス道路）。</li> <li>長野県側の道路拡幅</li> <li>国道 141 号の拡幅、バイパス、登坂車線の整備。</li> <li>国道 141 号の拡幅等が考えられるが現実的に可能性があるか</li> <li>中央道へのアクセス整備</li> <li>国道、県道、市道それぞれ必要に応じた修繕・整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断道が使用できれば、物流面でのメリットはもちろん観光面においてもかなりの地域活性化が期待できる。</li> <li>中部横断自動車道が開通すれば、物流のみならず、静岡～山梨～長野間の観光地の相互往来が活発になり、経済効果もかなり高くなるので、早期整備を望む。</li> <li>長野一八千穂間は、特に自然豊かな地域であります。自然環境保護の最先端(最新)のモデル高速道路としていただきたいと期待します。</li> <li>高速道路料金について在り方も含め再考願いたい。</li> </ul>
観光業	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された課題のとおりである</li> <li>主要 IC を下車してから時間がかかりすぎる。</li> <li>清里駅周辺がシャッター街化となっている。</li> <li>観光地間の連携が悪く広域日帰り観光ができない。</li> <li>軽井沢をはじめとする東信地方と周辺地域（当該エリア）との自動車による輸送に時間がかかり、それによる主要な観光地間の連携および、生活交通として機能することが難しくなっている。</li> <li>緊急医療施設までの移動時間が長い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 つの目標が達成されれば大きな改善になる</li> <li>企業としては、アクセス向上により、群馬・埼玉方面の新しいお客様が来てもらえる様になる。</li> <li>アクセスを含め良くなることで新しい商圏からの誘客により地域を活性化</li> <li>主要観光地間の移動時間短縮やアクセス性の向上により、バス新路線の新設などの可能性が広がり、周辺地域の活性化にも寄与することが期待される。</li> <li>主要観光地間の時間短縮に役立ちます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された対策案は有効</li> <li>高速道路の一番のメリットである時間の短縮ができなくなる企業としての利益は少ないと思う。5 つの課題を解決する目的であれば、現在の国道の改修等では難しいと思う。</li> <li>国道 141 号をまず使いやすくする。例えば、コーナーを少なくする。拡張する等</li> <li>国道 141 号の整備、拡幅、観光活性化策</li> <li>高速道路にアクセスする周辺道路環境の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清里エリアがスルーされる状態になると現状より観光客が減る可能性が高くなると思う。</li> <li>アクセス性が向上することは、望ましいが、地域の抱える問題が解消されることは考え難い。逆に、観光地としては、益々日帰り観光者が増え、区間内の国道隣接する商店等小売業は、通行車両の減少により、経営が悪化する恐れがある。</li> <li>この地域は観光以上に農業が盛んなためトラックも多く国道では本当に危ないとも思うことがある。とにかく 1 日でも早くお願いします。</li> </ul>
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送時間の短縮</li> <li>夜間、休日等の専門医の充実</li> <li>国道 141 号線は幅員が狭く、急な坂やカーブも多く走行性・安全性に欠ける。また迂回路も無い区域もあり不便であるとともに災害に対応できない。</li> <li>救急の基幹病院が現在より遠方に移転する計画があり重篤な傷病者の搬送に不安がある。</li> <li>管内の救急の指定病院に医師の確保等充実を望みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送時間の短縮</li> <li>防災ヘリ及びドクターヘリ連携拠点の強化</li> <li>救急医療施設への搬送時間短縮は高速道路の建設と併せて国道 141 号線の拡幅・整備が必要と考えます。</li> <li>管轄区域内の救急指定病院の充実（医師、看護師、技師の確保）を望みます。</li> <li>お産についても、産婦人科を有する佐久総合病院等へのアクセスも容易になり、メリットにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された対策案は有効</li> <li>救急受入医療機関の整備</li> <li>国道 141 号線の拡幅・修繕県道の整備と併せてドクターヘリの活用には周辺地域にヘリポートを数多く設置しドクターヘリと救急車の合流地点の増加を望みます。</li> <li>ドクターヘリについては、昨年 11 月山梨県ドクターヘリ導入可能性検討委員会において、導入を推進すべきとの報告がなされており、県において現在検討が進められている。</li> <li>搬送時間短縮のために高速交通網の整備は必要である。141 号の 2 車線化等も有効であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル、橋梁に関わる事故への対応。</li> <li>狭い道路での車両通過。</li> <li>取付道路の整備及び緊急開口部の併設</li> <li>救急搬送で基幹病院の移転が目前に迫っており搬送時間短縮のためにも早期の高速道路建設、国道 141 号線の整備を望みます。</li> <li>搬送時間が長時間になる問題点は、搬送中の傷病者の不利益になることはもちろんのこと、管轄内の救急隊が不在となることも大きな問題である。長距離搬送で有効であるドクターヘリも、救急隊が現場にいて運用されるものであるため、救急隊が不在である時は、実質運用は不可能である。</li> </ul>
サービス業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間郡の為坂が多く道幅が狭い上、カーブが多いが、特に降雪時、凍結時の路面安全対策が寒冷地として不十分</li> <li>国道 141 号は豪雨時の通行止め規制などの区間があり、安全性や走行性に課題があります。したがって救急病院への搬送とか日常生活の移動など不便をします。</li> <li>高齢、一人暮らしなどで車もなく買い物に行けない買い物弱者の支援も必要。道、地域を通して市町村など連携も必要だと思います。</li> <li>生鮮野菜、牛乳など運搬に時間がかかり傷みやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 つの目標はあてはまる</li> <li>生活道路の大型車排除</li> <li>通行止め時の代替路線の確保。</li> <li>道路走行性・安全性の向上</li> <li>広域観光地間の移動時間の短縮。</li> <li>3 月 11 日の関東・東北大震災で道路が閉ざされ、物流がこんなに困難であることを思い知らされました。自然の災害は人が思う以上のものです。その備えのためにも高速道路の大切さが分かります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された対策案は有効</li> <li>R141 の拡幅、バイパス道の整備</li> <li>県道の整備、歩道の拡幅、信号機をつける（人の横断が多い所）横断歩道をつける。</li> <li>佐久地方は冬季に凍結するため道路の傷みが多く、危険が部分の修復が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この度の大地震のような災害でも破壊されない頑丈な道路を作って欲しい。</li> <li>途中に風景を楽しめるようなスポットがあれば新鮮な空気を吸って英気も養われます。</li> <li>女性が安心して走れる道路。</li> <li>20K 走れば休める様な場所（店はなくてよい）の確保。</li> </ul>
公共交通機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 つの課題については、同意見である。</li> <li>救急病院への救急搬送に時間がかかる。国道 141 号の走行性、安全性不足</li> <li>道路整備に依り移動時間の短縮を計り観光地間の連携向上と生活交通の円滑化を計る事が急務</li> <li>買い物、通学などの日常生活の面で不便な点が課題です。</li> <li>その他に鉄道やバスなどの公共交通機関利用せずに自家用車に依存していることが、公共交通の廃止を助長することになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 つの「課題を解決するための目標」をぜひ、実現してほしいと思います。</li> <li>地域の活性化と定住促進を主に目標に向かって取り組む必要があります。</li> <li>交通の便が良くなり、物流も活発になるのはいいことだと考えられます。バス運行の関係からは、その他目標は特にありません。</li> <li>利用客が減少することにより、鉄道等は公共交通としての役割が無くなり、廃止を迫られることになる。地域との連携、役割分担をさらに検討すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された対策案は有効</li> <li>国道 141 号拡幅、歩道も含め安全対策も急務です。</li> <li>道路の問題よりは、福祉部門との連携が必要だと思います。</li> <li>国道の整備も必要である。</li> <li>佐久穂町からの国道 141 号線の整備、拡幅</li> <li>高速道路の整備とともにアクセスする地域の基幹道路整備は重要であると思われる。</li> <li>国道の拡幅、修繕。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断自動車道ができることは、地域にとって明るいニュースだと思いますが、その反面、この地域がただの通過点になってしまい、観光客などが減少することがなければと思います。</li> <li>利便性の向上が期待される反面、郊外への流出が危惧されるかと思われる。魅力ある住み易い地域を目指すことが必要かと思われる。</li> <li>高齢者も多いため、IC は身近な場所をお願いしたいと思います。</li> <li>一般道周辺の小売業者への影響、インターのない（距離がある）地域では、何の利益も生まれにくいという問題も深刻である。</li> </ul>
追加団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>当然、この 5 つの課題は、佐久地域以南が抱えるものである。</li> <li>早期に解決する必要がある（若者の流出をくいとめる事が大事）。</li> <li>主要な観光地間の連携が不足している。県内有数の観光地である軽井沢、野辺山、清里高原の中間に位置しながらも主要道路 141 号でのアクセスでは不十分で、八千穂高原への集客は芳しくない。</li> <li>野辺山のの上りと下りはカーブの多い道路であるため、走行上危険をともない、特に積雪時と凍結は危険。</li> <li>アンケートに示されている課題は、まさしくこの地域の課題である。</li> <li>国道 141 号の状況についても、特に冬などは雪で幅員が狭くなることもあり、大型車などの通行が困難。</li> <li>国道 141 号も以外に川上村へ通ずる県道があるが、災害などがあると陸の孤島になってしまう。</li> <li>川上村への移動に時間がかかる。</li> <li>生活面で、佐久のショッピングセンターまで 1 時間半くらいかかっている。</li> <li>国道 141 号の迂回路として重要。</li> <li>救急病院への救急搬送の時間。</li> <li>観光地（野辺山高原）のインターが期待される。</li> <li>中部横断自動車道の建設が、ハケ岳山麓の北杜市高原地域や南佐久地域に残されている豊かな自然といかに共存していくかが大変重要。</li> <li>ハケ岳の景観と自然の喪失</li> <li>観光地としての地盤沈下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標が達成されれば、確実に生活環境は向上する。</li> <li>広域観光地間の移動時間の短縮。佐久町 IC、八千穂 IC から長坂までの高速道が開けることで、アクセスは向上し、集客の期待ができる。</li> <li>自然条件が厳しいため、走行時の安全性向上が目標。</li> <li>インターチェンジの開設により、商原野菜の自動車輸送の時間短縮、農業と観光の連携に多いに期待できる。</li> <li>5 つの「課題を解決するための目標」は、周辺地域が課題を解決するための目標であると思われる。</li> <li>5 つの「課題を解決するための目標」の達成と「豊かな自然との共存」が両立すれば、この地域は、観光及び滞在先進地のすばらしい模範となる可能性があると考ええる。</li> <li>国道 141 号の改良。</li> <li>ドクターヘリの整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八千穂 IC 以南の早急な開通に合わせ、299 号や周辺県道の整備。特に余地峠の通行獲得を望む。</li> <li>中部横断道はこの地域に必要であり、期待している。早期に整備してほしい。</li> <li>既存国道・県道等の整備。</li> <li>公共地域交通の整備。</li> <li>ドクターヘリの整備。</li> <li>独立した遊歩道の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車道の整備には、広い土地が、地形を変える事になる。自然環境への配慮を充分にして頂きたい。小動物や虫、鳥、植物等の充分な調査をしたうえで破壊しないようお願いしたい。</li> <li>現在、整備が進められている八千穂 IC までの工事が 1 日も早く順調に進むことを期待し、合わせて、八千穂以南の整備計画ができることを望む。</li> <li>長野東信と静岡東部との交流、物流、商観業等の効果は大きなものがあり、早期開通を願う。</li> <li>（観光等の）冬期の収支計算上の赤字が心配。</li> <li>観光地間の連携も移動時間が短くなれば、他の地域からも来やすくなるのではないかと。ただ、周辺地域に降りず通過してしまう心配はある。</li> <li>中部横断自動車の開通に伴い、ハケ岳、千曲川の地域活性化が期待できる。</li> <li>森林環境と高原景観保全をきちんと行う道路開発ルート及び工法であること。</li> <li>生物多様性を保全するとともに動物の移動に配慮した高速道路の開発であること。</li> <li>高速道路に関わる費用対効果の検証が必要。</li> <li>産業政策、インフラ政策、福祉厚生政策等、その他の施策との比較による優先順位の比較が必要</li> <li>市民への計画案、進捗状況の丁寧な説明と意見聴取</li> <li>高度成長時代に策定された高速道路計画の見直し</li> <li>ハケ岳山麓に高速道路は不要</li> <li>観光や不動産業、建設業の衰退による北杜市の地盤沈下</li> <li>生態系などの環境への影響の懸念</li> <li>北杜市のまちづくり計画との整合の必要性</li> </ul>

※ 寄せられた意見のうち各分類に主に関連する意見を掲載

## 2. 第1回コミュニケーション活動のまとめ（①周辺地域の課題について）

項目	主な意見	対応
提示した5つの課題	地域によって差はあるものの提案した課題に対して「そう思う」「そう思わない」の両方の意見	提示した「産業物流」「救急医療」「観光地連携」「日常生活」「国道141号」を地域の課題とします。
その他考えられる地域の課題	高齢化や人口減少による過疎化を課題とする等の意見	周辺地域の課題に「高齢化・過疎化」を追加します。
	地域の活性化や他地域との交流・連携が不足していることを課題とする等の意見	周辺地域の課題に「地域活性・連携」を追加します。
	鉄道やバスの運行本数が少ないなど、公共交通機関が活用されていないことを課題とする等の意見	周辺地域の課題に「公共交通」を追加します。
道路整備への期待に関する意見	中部横断自動車道の早期開通を期待している意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	移動性の向上と、地域の連携や交流促進を期待する意見	周辺地域の課題に「地域活性・連携」を追加します。
	地域連携の拡大による活性化を期待する意見	周辺地域の課題に「地域活性・連携」を追加します。
	騒音や振動、排気ガスの減少など生活環境の改善を期待する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加します。
道路整備への懸念に関する意見	自然環境や景観への影響を懸念する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加します。
	中部横断自動車道の必要性に否定的な意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
	既存道路の利用や現状のままで十分であるとする意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
	騒音や振動の増加などによる生活環境の悪化を懸念する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加します。
	観光地が通過点になり、観光地や地元産業等の衰退を懸念する意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
	地域分断や農地への影響を懸念する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
道路整備内容に関する意見	国道141号等既存道路の線形不良や幅員が狭く、拡幅などの道路改良を要望する意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に含まれています。
	中部横断自動車道の計画ルートや休憩施設などの検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	高速道路に繋がるアクセス道路や生活道路の整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、自然環境や景観への配慮を要望する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加します。
	ICの箇所数や位置など利便性を考慮した検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	国道141号のバイパス整備を要望する意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に含まれています。
	道路街灯や案内標識整備を要望する意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に含まれています。
道路整備以外の施設等に関する意見	医療設備やドクターヘリの整備等の医療の充実を要望する意見	提示した課題「救急医療」に、医療体制の充実について追記するとともに、地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
	保育園や老人施設、福祉施設等の整備を要望する意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
道路整備の進め方に関する意見	提示されたものを課題でないとする意見	周辺地域の課題に「高齢化・過疎化」「地域活性・連携」「公共交通」「環境・景観を保全すること」を追加します。
	現在の財政を考え、財源利用の方法（震災復興など）についての意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断自動車道の必要性について、再検討や説明を求める意見	オープンハウス等において説明して参ります。
	中部横断自動車道の料金無料化を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
提示した課題に関連する意見	国道141号など既存道路が通行止めとなった場合の迂回路がないことを課題とする意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に、代替路がないことを追記します。
	幹線道路や他地域間を結ぶ道路が少ない等、交通の不便さを課題とする意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に、地域間を結ぶ道路が少ないことを追記します。
	観光シーズンや休日、通勤時間帯の渋滞を課題とする意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に、休日や通勤時間帯の渋滞について追記します。
	観光資源が活用されておらず、観光地としての価値や魅力が向上されていないという意見	提示した周辺地域の「課題「観光地連携」に、観光資源の活用を追記します。
	降雪時の除雪及び凍結時のスリップ等に関しては、限られた地域だけの課題では無いという意見	提示した周辺地域の課題「国道141号」に、冬期の凍結時の安全性を追記します。
	夏場の高原野菜の出荷に於いて、できるだけ早く実需者の工場、店舗へ納品する必要があるが、この地域には国道141号線しかなく、定時性、時間短縮ができないという意見	提示した周辺地域の課題「産業物流」に、定時性を追記します。

## 2. 第1回コミュニケーション活動のまとめ（②課題を解決するための目標について）

項目	主な意見	対応
提示した5つの目標	地域によって差はあるものの提案した目標に対して「そう思う」「そう思わない」の両方の意見	提示した「高速道路までの移動時間短縮」「救急医療施設への移動時間短縮」「主要な観光地間等の連携向上」「地域の生活交通の円滑化」「災害時の代替路確保」を地域の目標とします。
その他考えられる課題を解決するための目標	現道の渋滞や事故を減らし、走行性や安全性の向上を目標とする等の意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」を追加します。
	新たな企業の進出や雇用の確保を目標とする等の意見	課題を解決するための目標に「企業誘致・雇用の促進」を追加します。
	地域連携強化による地域の活性化を図ることを目標とする意見	課題を解決するための目標に「企業誘致・雇用の促進」を追加します。
	高速道路ネットワークの強化により、地域連携や利便性向上を図ることを目標とする意見	課題を解決するための目標に「企業誘致・雇用の促進」を追加します。
	鉄道やバスの本数を増やすなど、公共交通機関の活用や整備を目標とする等の意見	課題を解決するための目標に「公共交通の利便性の向上」を追加します。
道路整備への期待に関する意見	中部横断自動車道の早期開通を期待している等の肯定的な意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	災害時に首都圏の広域的な迂回路としての機能を期待している意見	提示した目標「災害時の代替路確保」に含まれています。
	騒音や振動、排気ガスの減少など生活環境の改善を期待する意見	課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
道路整備への懸念に関する意見	自然環境や景観への影響を懸念する意見	課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	中部横断自動車道の必要性に否定的な意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
	既存道路の利用や現状のまままで十分であるとする意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
	観光地が通過点になり、観光地や地元産業等の衰退を懸念する意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
	騒音や振動の増加などによる生活環境の悪化を懸念する意見	課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	国道141号等既存道路の線形不良や幅員が狭く、拡幅などの道路改良を要望する意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」を追加します。
道路整備内容に関する意見	高速道路に繋がるアクセス道路や生活道路の整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断自動車道の計画ルートや休憩施設などの検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	国道141号のバイパス整備を要望する意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」を追加します。
	ICの箇所数や位置など利便性を考慮した検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、2車線整備やコスト縮減を考慮した整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、景観や自然環境への配慮を要望する意見	課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	中部横断の整備にあたり、4車線での整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	医療設備やドクターヘリの整備等の医療の充実を要望する意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
道路整備以外の施設等に関する意見	提示されたものを目標でないとする意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」「企業誘致・雇用の促進」「公共交通の利便性の向上」「環境・景観の保全」を追加します。
道路整備の進め方に関する意見	中部横断自動車道の料金無料化を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	現在の財政を考え、財源利用の方法（震災復興など）についての意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断自動車道の必要性について、再検討や説明を求める意見	オープンハウス等において説明して参ります。
	観光の活性化や観光客の増加を目標とする意見	提示した目標「主要な観光地間等の移動時間短縮」に、観光の活性化、観光客の増加について追記します。
提示した目標に関連する意見	移動時間が短縮されれば、日常生活、通勤などの不便が解消され、雇用機会の選択も増加するため、日常生活の移動性を短縮する必要があるという意見	提示した目標「地域の生活交通の円滑化」に、通勤などの移動時間短縮について追記します。
	観光資源を活かした観光の活性化には、観光人口の増加と広域的な地域間交流が図られるとする意見	提示した目標「主要な観光地間等の移動時間短縮」に、観光の活性化、観光客の増加について追記します。
	通学、通勤圏拡大、人口流出抑制を目標とする意見	提示した目標「地域の生活交通の円滑化」に、通勤、定住人口の増加について追記します。
	雪害、事故の際に代替道路がなく、運行上の支障を解消することを目標とする意見	提示した目標「災害時の代替路確保」に、雪害・事故による通行止めが発生した場合の代替道路としての機能について追記します。
	他の高速道路と連絡して2ネットワーク化、地域間の結び付きの強化を目的とする意見	提示した目標「主要な観光地間等の連携向上」を「主要な観光地等の連携向上」に変更し、地域間の連携強化を追記します。

※主な意見は、アンケート・意見聴取（地元自治体、経済界等）からの意見について、類似意見をとりまとめたものです。

## 2. 第1回コミュニケーション活動のまとめ（③対策案について）

項目	主な意見	対応
その他考えられる対策案	既存道路の有効活用や改良を必要という等の意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」を追加します。
道路整備への期待に関する意見	中部横断自動車道の早期開通を期待している等の肯定的な意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	地域連携の拡大による活性化を期待する意見	課題を解決するための目標「主要な観光地間の連携向上」を「主要な観光地等の連携向上」に変更し、地域間の連携強化も追記します。
	企業誘致や雇用拡大による地域活性化を期待する意見	課題を解決するための目標「企業誘致・雇用の促進」を追加します。
道路整備への懸念に関する意見	中部横断自動車道の必要性に否定的な意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
	自然環境や景観への影響を懸念する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加し、課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	既存道路の利用や現状のままでも十分であるとする意見	対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
道路整備内容に関する意見	中部横断自動車道と中央道との接続位置の変更を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断自動車道の計画ルートの変更を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、トンネル構造での整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	冬期の降雪や凍結に配慮した走行安全性を確保した整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	段階整備(当面2車)や料金体系(有料・無料)などの検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	ICの箇所数など利便性を考慮した検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、4車線での整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、2車線での整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、SAやPA等の設置を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、自然環境や景観への配慮を要望する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加し、課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	独立した遊歩道の整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
道路整備以外の施設等に関する意見	医療設備やドクターヘリの整備等の医療の充実を要望する意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
	既存の公共交通機関（鉄道、バス）の改善（活用、整備）などを要望する意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
	農業や地域産業の活性化を必要という意見	周辺地域の課題に「地域活性・連携」を追加し、課題を解決するための目標「企業誘致・雇用の促進」を追加します。
道路整備の進め方に関する意見	現在の財政を考え、財源利用の方法（震災復興など）についての意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断自動車道の必要性について、再検討や説明を求める意見	オープンハウス等において説明して参ります。
	現道整備案など高速道路の整備以外の案との比較をすべきとする意見	対策案に「国道141号（一般道）の改良」を追加します。
案1・案2に関する意見	現道を活用する2案での整備を要望する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
	現道利用には課題があるため、1案での整備を要望する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
	2案の旧清里有料道路の活用について、構造上の問題を懸念する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
	コスト削減の観点から、2案での整備を要望する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
	2案には賛成であるが、旧清里道路の有料化には反対とする意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。

※主な意見は、アンケート・意見聴取(地元自治体、経済界等)からの意見について、類似意見をとりまとめたものです。

## 2. 第1回コミュニケーション活動のまとめ（④期待・懸念等について）

項目	主な意見	対応
道路整備への期待に関する意見	中部横断自動車道の早期開通を期待している等の意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	地域連携の拡大による活性化を期待する意見	課題を解決するための目標「主要な観光地間の連携向上」を「主要な観光地等の連携向上」に変更し、地域間の連携強化も追記します。
	交通事故減少など地域の安全性向上を期待する意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」を追加します。
	人口増加や地域経済の活性化を期待する意見	課題を解決するための目標「企業誘致・雇用の促進」を追加します。
	移動性の向上や行動範囲拡大による生活の利便性向上を期待する意見	課題を解決するための目標「地域の生活交通の円滑化」に含まれます。
	災害時などの代替路確保による地域の安全性向上を期待する意見	課題を解決するための目標「災害時の代替路確保」に含まれます。
	輸送時間の短縮による地域産業の活性化を期待する意見	課題を解決するための目標「高速道路までの移動時間短縮」に含まれます。
	観光地へのアクセス向上による地域観光の活性化を期待する意見	課題を解決するための目標「主要な観光地間等の連携向上」に含まれます。
	中部横断の開通に伴う整備効果の大きさを期待する意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」「企業誘致・雇用の促進」「公共交通の利便性の向上」「環境・景観の保全」を追加します。
	救急車両の搬送時間短縮を期待する意見	提示した目標「救急医療施設への移動時間短縮」に含まれています。
	交通渋滞の解消を期待する意見	課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」を追加します。
	災害時などの広域的な代替路としての機能を期待する意見	課題を解決するための目標「災害時の代替路確保」に含まれます。
	CO2排出量の減少など環境影響低減を期待する意見	課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	道路整備への懸念に関する意見	中部横断自動車道の必要性に否定的な意見
自然環境や景観への影響を懸念する意見		周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加し、課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
騒音や振動の増加などによる生活環境の悪化を懸念する意見		周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加し、課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
中部横断自動車道整備による整備効果を期待しない意見		対策案に「国道141号（一般道）改良案」と「整備なし」を追加します。
交通事故や渋滞の増加による安全性や快適性への影響を懸念する意見		課題を解決するための目標に「現道の走行性・安全性の向上」を追加します。
観光地が通過点になり、観光地や地元産業等の衰退を懸念する意見		地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
地元産業（農商工）の衰退を懸念する意見		地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
IC周辺以外や高速道路開通による地域の空洞化、過疎化を懸念する意見		地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
将来的な維持管理費用等の費用負担を懸念する意見		今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
鉄道やバスなど公共交通機関の衰退を懸念する意見		地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
犯罪の増加など生活環境に与える影響を懸念する意見		地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。
既存道路の整備の遅れや劣化を懸念する意見		今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
道路整備内容に関する意見	既存道路の整備やICアクセス道路等の整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、自然環境や景観への配慮を要望する意見	周辺地域の課題に「環境・景観を保全すること」を追加し、課題を解決するための目標に「環境・景観の保全」を追加します。
	2車線整備等の段階整備や既存道路の有効利用等を要望する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
	道路構造上の課題から、旧清里有料道路の利用を懸念する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	ICの箇所数や位置など利便性を考慮した検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	住宅地や農地、自然環境などに配慮したルート検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、4車線での整備を要望する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
	中部横断自動車道の料金無料化や料金有料化を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、トンネル構造での整備を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断の整備にあたり、休憩施設などの検討を要望する意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	高い道路規格での整備による高速走行の確保を要望する意見	提示した「全区間で新たに道路を整備する案」「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」を地域の課題を解決していくための対策案とします。
道路整備の進め方に関する意見	現在の財政を考え、財源利用の方法（震災復興など）についての意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	中部横断自動車道の必要性について、再検討や説明を求める意見	オープンハウス等において説明して参ります。
	高速道路料金について、在り方も含めて再考願いたいという意見	今後の計画の具体化等に関するご意見としてとりまとめます。
	市民への計画案・進捗状況の丁寧な説明と意見聴取を要望する意見	オープンハウス等において説明して参ります。
	北杜市のまちづくり計画との整合の必要性についての意見	地域と一体となった取り組みに関するご意見としてとりまとめます。

※主な意見は、アンケート・意見聴取（地元自治体、経済界等）の結果をとりまとめたものです。

## 計画段階評価の進め方

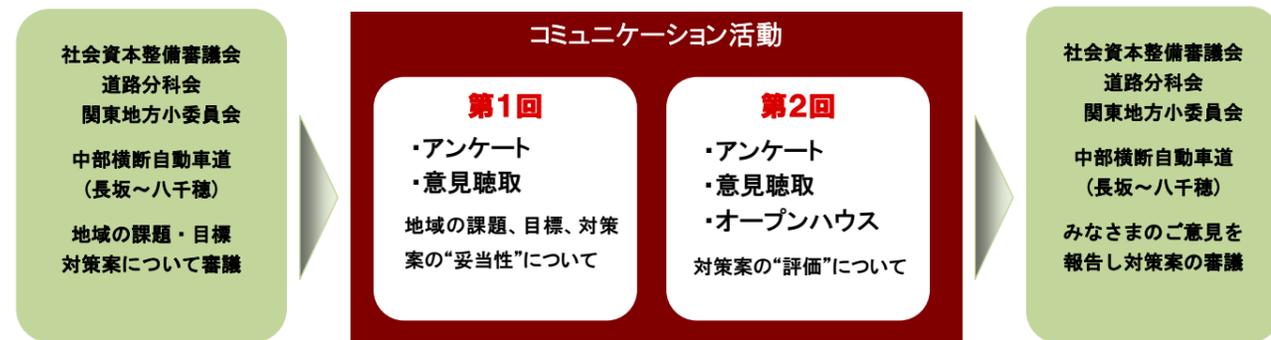
### ■「計画段階評価」で、皆様のご意見を伺い、委員会に報告します。

「計画段階評価」とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。

中部横断自動車道（長坂～八千穂）を対象とした「計画段階評価」は、「社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会」において審議が行われています。

アンケート・意見聴取を通じて「沿線地域にお住まいの方、道路利用者」、「経済界等、地元自治体」の皆様から頂いたご意見は、事務局でとりまとめ委員会に報告する予定です。

### ■計画段階評価の進め方



## 第1回コミュニケーション活動結果に関するお問い合わせ先

### 中部横断自動車道(長坂～八千穂) 計画段階評価 事務局

国土交通省 関東地方整備局

■甲府河川国道事務所 計画課 TEL 055-254-6571

■長野国道事務所 中部横断自動車道推進室 TEL 026-264-7081

※結果については、ホームページで公表しております。(http://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/)